

ウポイ
NATIONAL AINU MUSEUM and PARK
民族共生象徴空間令和6年8月1日
留萌開発建設部

第9期北海道総合開発計画 キックオフシンポジウムの開催について

北海道総合開発計画は、北海道の資源や特性を活かして、その時々のが我が国の課題解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展を図るため国が策定する計画です。

「第9期北海道総合開発計画」では、北海道の強みである高い食料供給力や魅力的な観光資源、豊富な再生可能エネルギーなどを活かし、我が国の課題解決に貢献するとともに、その基盤となる北海道の定住環境を維持していく取組を進めていきます。

留萌開発建設部では、留萌地域の強みである「食・観光・自然エネルギー」をテーマに、留萌地域の未来について地域の方々と一緒に考える機会として、下記のとおりシンポジウムを開催します。

記

- 1 シンポジウム名称 『共に留萌地域の未来を創る～留萌地域の強みを活かした生産空間の維持・発展～』
 - 2 日時 令和6年9月17日（火）13時30分～16時00分
 - 3 場所 留萌市文化センター 大ホール（留萌市見晴町2丁目27）
 - 4 プログラム 別紙のとおり
 - 5 参加費 無料
 - 6 申込方法
 - ・参加を希望される方は、9月10日（火）17：00までに別紙に記載のURLまたはQRコードからお申し込みください。
 - ・取材を希望される報道関係者の方は、9月11日（水）までに「氏名、所属（会社名等）、連絡先（携帯電話番号）及び取材人数（テレビカメラ使用の有無を含む）」を記載のうえ、以下のメールアドレスまでお申し込みください。
※送付先：hkd-rm-info-iken@gxb.mlit.go.jp（留萌開発建設部広報官宛て）
- 申し込みいただいた情報は、留萌開発建設部が取材の相手方を確認する以外には使用しません。

【問合せ先】国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 電話 0164-42-2395

地域連携課長 稲垣 達弘（内線 462）

地域連携課長補佐 池田 竜彦（内線 396）

留萌開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/rm/>

公式X（旧Twitter）アカウント @mlit_hkd_rm



2024年
9/17 (火)13:30~16:00
(開場 13:00)会場：留萌市文化センター
大ホール
(北海道留萌市見晴町2丁目27)

入場

無料

地域PR
パネル展
同時開催！
(12:00~16:30)

留萌地域の強みを活かした

生産空間の維持・発展

共に留萌地域の
未来を創る★
プログラム

- 13:30~ 開会
第9期北海道総合開発計画の紹介
北海道総合計画の紹介
- 13:50~ 基調講演
- 14:20~ 休憩
- 14:35~ パネルディスカッション
- 16:00~ 閉会



1

基調講演

「留萌地域のポテンシャルを考える」
北海学園大学 工学部教授 鈴木 聡士 氏

< 基調講演の概要 >

再生可能エネルギー、食、観光の視点から
留萌地域のポテンシャルを考えます北海学園大学工学部
Hokkai-Gakuen University Faculty of Engineering

2

「共に留萌地域の未来を創る」

★パネリスト

パネルディス
カッション

inakaBLUE 代表

NPO法人留萌観光協会 会長

株式会社 モンベル 常務取締役広報本部長

株式会社丸々田中青果 常務取締役

小笠原 宏 一 氏

佐藤 太 紀 氏

竹山 史 朗 氏

田中 美智子 氏

申込
方法

ご参加にはお申し込みが必要です。QRコード又は下記のURLよりお申し込み下さい。

URL：<https://forms.office.com/r/wCHDMDxwuu>

参加費：無料 申込期限：9月10日(火) 17時

お問合わせ：☎0164-42-2395 (北海道開発局 留萌開発建設部 地域連携課)

国土交通省 北海道開発局 留萌開発建設部 北海道 留萌振興局 留萌市



第9期北海道総合開発計画 キックオフシンポジウム

北海道総合開発計画は、北海道の資源や特性を活かして、その時々のが我が国の課題解決に貢献するとともに、地域の活力ある発展を図るため国が策定する計画です。

「第9期北海道総合開発計画」では、北海道の強みである高い食料供給力や魅力的な観光資源、豊富な再生可能エネルギーなどを活かし、我が国の課題解決に貢献するとともに、その基盤となる北海道の定住環境を維持していく取組を進めていきます。

留萌開発建設部では、留萌地域の強みである「食・観光・自然エネルギー」をテーマに、留萌地域の未来について地域の方々と一緒に考える機会として、公開シンポジウムを開催します。

パネルディスカッション ～共に留萌地域の未来を創る～

★コーディネーター



北海学園大学 工学部教授 鈴木 聡士 氏

北海学園大学大学院工学研究科博士（後期）課程修了、博士（工学）。VU University Amsterdam客員研究員等を経て、2013年より現職。2022年より北海学園大学入試部長。北海道開発局事業審議委員会委員、北海道運輸局地域公共交通確保維持改善事業第三者評価委員会委員、北海道都市計画審議会会長、北広島市総合計画推進委員会委員長、オール北海道ボールパーク連携協議会委員、PRSCO（環太平洋地域学会機構）事務局長等を歴任している。

★パネリスト（五十音順）

inakaBLUE 代表 小笠原 宏一 氏

漁村コミュニティ復活の為に、FIP（漁業改善プロジェクト）を活用して漁獲データの収集や漁獲量制限などの取組を推進し持続可能な漁業確立を目指す。また、ミズダコのカニ加工・販売を自ら行い6次産業化することで漁獲量を制限しても収益を補うことができるサステナブルなタコ漁「ReTAKO」を始動。YouTube配信や講演活動を通じ漁業の魅力を発信している。



NPO法人留萌観光協会 会長 佐藤 太紀 氏

市民主体の地域コミュニティラジオ局を有志と共に2004年に開局。2008年より地元観光協会や自治体などと連携しHP、SNS、紙メディアなどへ情報ツールを拡張。2012年に地域課題を解決するまちづくり会社の株式会社コササルを設立。2018年に旅行業（二種）登録。2019年に（一社）日本コミュニティ放送協会代表理事を経て現在は監事。また（一社）北海道旅行業協会の監事も務め、地域の観光地域づくりと情報受発信の両輪を通じて地域活性に努める。総務省地域力創造アドバイザー、内閣府地域活性化伝道師、北海道総合開発委員（北海道総合計画）。



株式会社モンベル 常務取締役 広報本部長 竹山 史朗 氏

1988年株式会社モンベルに入社。営業部、生産本部などを経て2000年よりWEBサイトの立ち上げに携わり、その後、広報部の責任者となる。マーケティング全般、モンベルクラブ会員組織の運営、イベント運営、CSR、異業種とのコラボレーション、地方自治体との提携事業、さらにはアウトドア雑誌「岳人」の出版などを行ってきた。近年はアウトドアのノウハウを活かした地方創生やエコでスローな旅「ジャパンエコトラック」を様々な地域で提唱する。趣味は山歩きだが海も川も里も含め見知らぬ土地を歩き回るのが大好き。



株式会社丸夕田中青果 常務取締役 田中 美智子 氏

伝統の味「にしん漬け」や地場産野菜などを使用したピクルスの商品開発・販売のほか、カフェ「Love Vegetable TANAKA」を手掛ける。また、親子を対象とした料理教室等の開催やジュエルフールーツクリエイター、野菜ソムリエなどとしての講演・指導活動も行っている。北海道らしい食づくり名人（分野：食品加工、料理、食文化・食育、伝承名人）、北海道漬物類組合理事、留萌市農業委員、留萌観光協会理事

